

寺子屋方丈舎は、学校外の子どもの学びの場所として1999年に設立したフリースクールです。現在、7歳から21歳までの若者を受け入れています。

# 子どもを受け止める親のために (7)

特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎

大関 勇気

4月から新学期が始まり、1か月が経ちました。3月にコロナウイルス感染拡大予防の影響で二斉休校になった後、子どもたちは、気持ちも新たに生活をはじめています。私たち大人はどうでしょうか？ 急な休校で、慌てたりイライラすることも多くあったと思います。

外出禁止、個人の感染対策。この3ヶ月あまりの社会の急速な環境の変化は、大人に深刻な不安をもたらし、結果として子どもへ影響を及ぼしています。

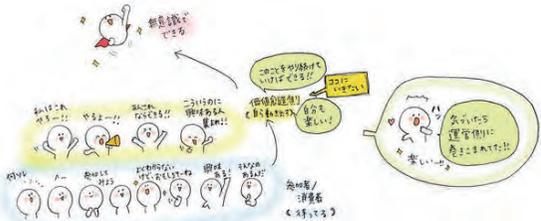
子どもに何を学んでもらいたいですか？

親として、子どもにどのような学びをしてもらいたいですか？ 学びについてもいろいろあります。「いつばい勉強してテストで100点を目標に頑張ろう」というキャッチフレーズ

自分にとって必要なものを選ぶ力

私たち大人は、正解はひとつだと思いがちです。むしろ社会では、答えは複数存在しているのはあたり前です。私たちは、無意識にいくつかある答えの中から自分が最適だと思う二つを選んでいきます。

大事なことは、選んだ答えを、本当に納得して選んでいるのかということではないでしょうか。私たちには、まわりがそうだから、一般的だから、平均的だから、それが普通という思



い込みがあります。一見正しいように見えても、自分を押し殺し、まわりに合わせてというガマンを子どもにも強いています。「なんとなく」の空気で進んでいく社会は、子ども



私たちはどんな社会を実現したいのですか？ ©Takashi Maeno

は、わかりやすいですが、誰もが高い点数を取れるわけではありません。教育の一面だけが切り取られ、そこで評価される事に、辛さを抱えている子どもが多いです。

もから自分の意見を言う自由や、人と違う面白さをどんどん奪っていきま。その結果、一見「大人しい」子どもが誕生します。

フリースクールでの学び

フリースクールでは、自分のアタマで考える力、選ぶ力を大事にします。なぜなら、自分を裏切つて、人に合わせていても幸せになれないからです。自分がどう考えているのか？ どう感じているのか？ など対話を通じて気づきます。お互いの中にある常識や規則、暗黙のルールが壊れていきます。こだわりを手放していきます。

「自分の中に余白が生まれる」事が、学ぶ喜びをつくりだしていく第一歩だと思います。自らの気持ちに正直に学ぶことを覚えると、学習が楽しくなります。どんどん楽しくなる事こそが、自分の成長には欠かせません。抑圧こそ成長だと思ふ人も多いです。実は、嫌われても、そこは空気を読まない力が自分にとっては大事になります。

もちろん、医者か弁護士か、博士か、ITベンチャーの社長か？ 人生の成功の方程式も、もはや単一ではないという発想が前提になりますけれども。